

企業の出勤状況調査（2024年9月分）

<アンケート結果総括>

■ 集計結果概要

- ・約7割の企業がテレワークを実施、約6割の企業が時差出勤を実施している
- ・4月以降新たに取組を実施した企業は少ないが、約半数が引き続き取組を行っている

- 以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとする スムーズビズの取組にご協力いただいています。
- テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズの取組は、通勤ラッシュの回避や新しいワークスタイルの実現に新型コロナウイルス感染症の再拡大防止にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。
今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2024年9月分）

<実施概要>

■対象：46,510社

（スムーズBiz・時差Biz及び2020TDM推進プロジェクト登録企業、スムーズBiz実践期間の事後アンケート回答企業）

■質問項目

Q1:8月の取り組み内容

Q2:2024年4月から取組規模の変化

Q3:テレワークの状況について

Q4:従業員の出勤割合

Q5:従業員の出勤時刻

Q6:ポスター・動画について

Q7:ポスター・動画について

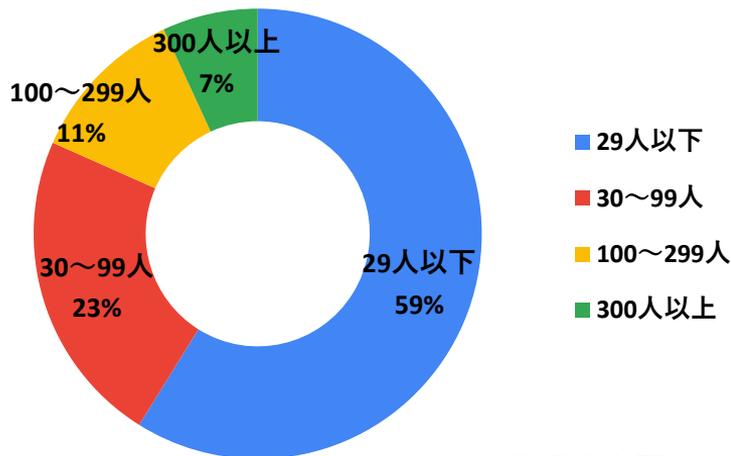
Q8:通勤方法

Q9:物流効率化について

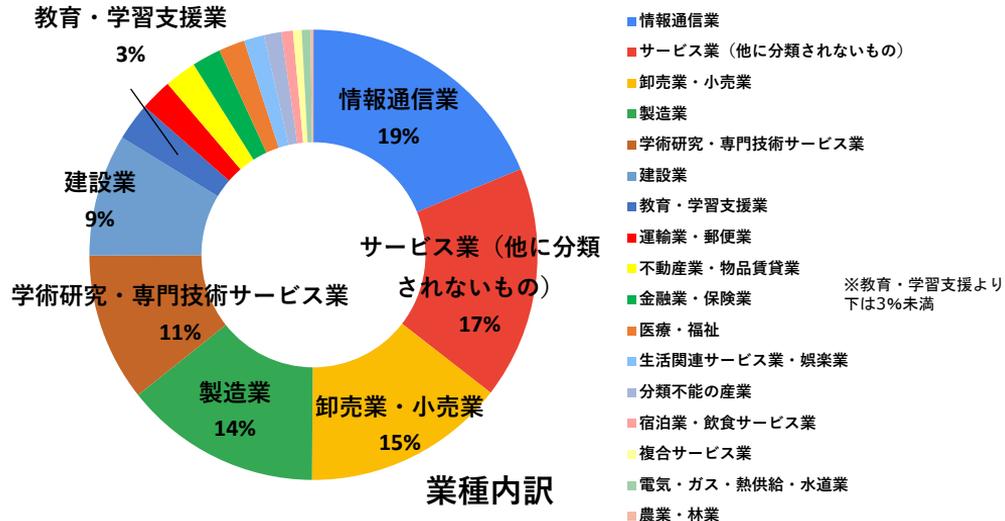
Q10:物流の効率化に資する取組について

■総回答企業数：479社

■実施期間：2024年9月24日(火)～10月22日(火)



企業規模内訳

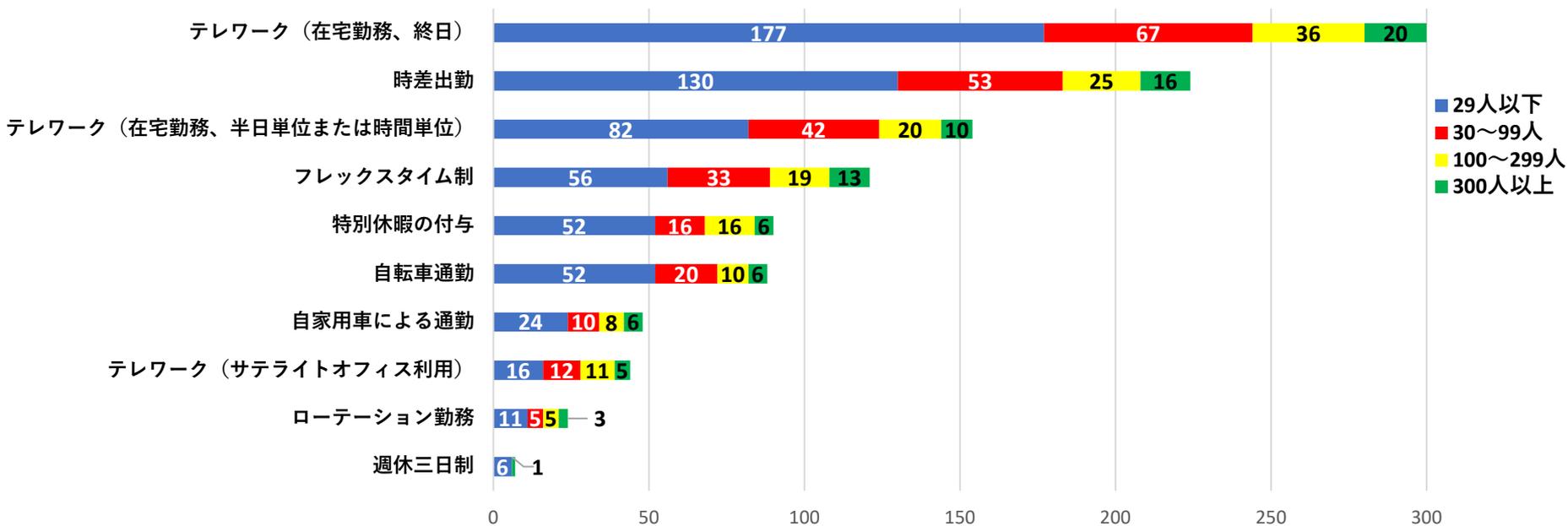


業種内訳

Q1:8月の取り組み内容

8月に回答企業が実施した取組内容内訳（複数回答可）

- ・約7割の企業がテレワークを実施、約半数の企業が時差出勤実施している
- ・その他にも自転車通勤やフレックスタイム制やローテーション勤務等各企業が状況を工夫しているのがわかる

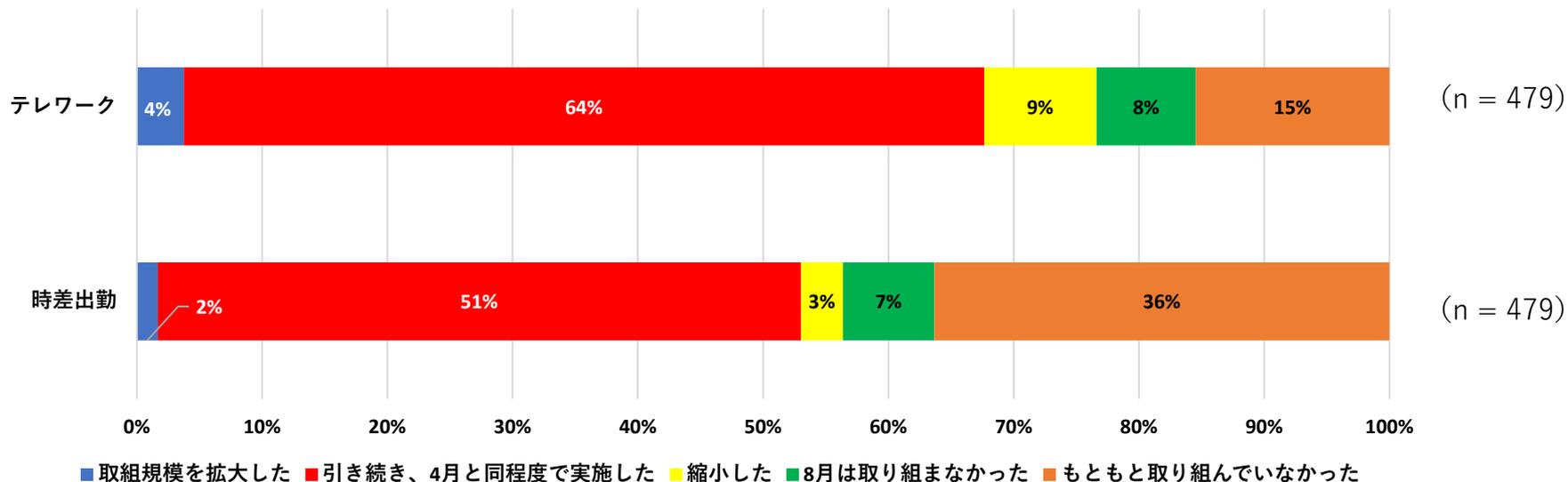


(n=1099 / 複数回答)

Q2:2024年4月からの取組規模の変化

2024年4月と比較した8月のテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

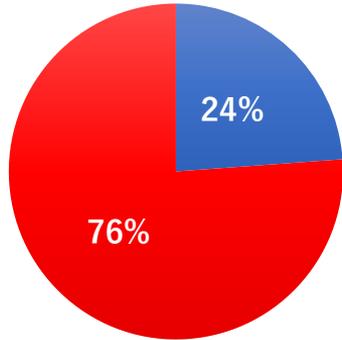
- ・4月以降新たに取組を実施した企業が若干増加。テレワークについては6.5割の企業が、時差出勤については約5割の企業が引き続き取り組みを行っている
- ・時差出勤に関してはもともと取り組んでいなかった企業が約4割ある



Q3-1-1,2: テレワークを実施していない企業の状況

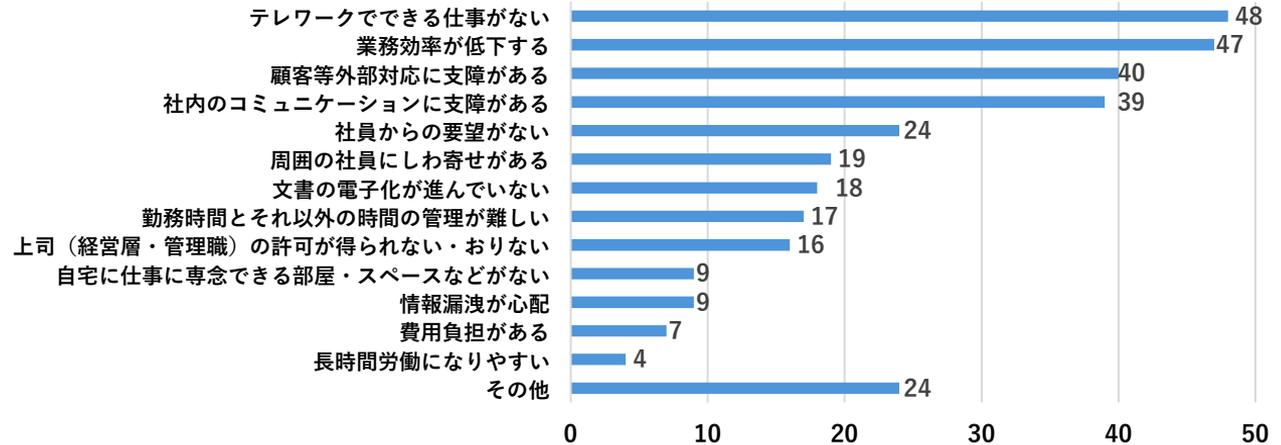
Q1において、「テレワーク」を選択しなかった企業の状況および理由

- ・テレワークについて、以前は実施していた企業が約8割
- ・テレワークをしない理由としては「テレワークできる仕事がない」・「業務効率が低下する」が上位



- これまでも実施したことはない
- 以前、テレワークを実施したことはある

(n = 151 / 任意)



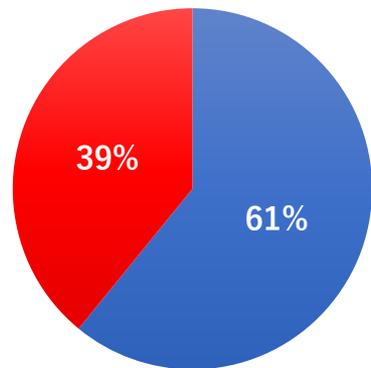
テレワークを実施しない理由

(n = 321 / 複数回答可・任意)

Q3-2-1,2: 時差出勤を実施していない企業の状況

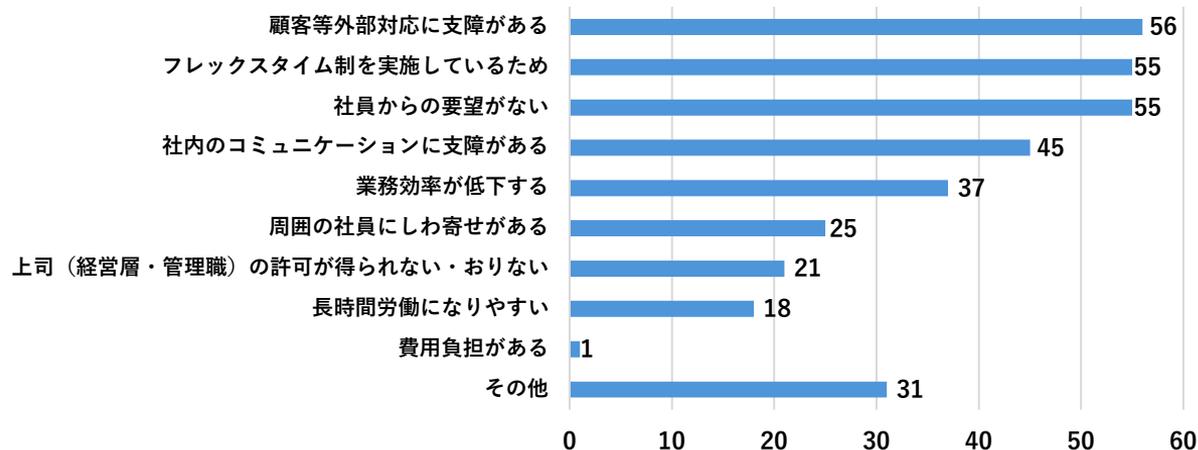
Q1において、「時差出勤」を選択しなかった企業の状況および理由

- ・時差出勤について、以前は実施していた企業が約4割
- ・時差出勤をしない理由としては「顧客等外部対応に支障がある」・「フレックスタイム制を実施しているため」「社員からの要望がない」が上位



- これまでも実施したことはない。
- 以前、時差出勤を実施したことはある。

(n = 243 / 任意)



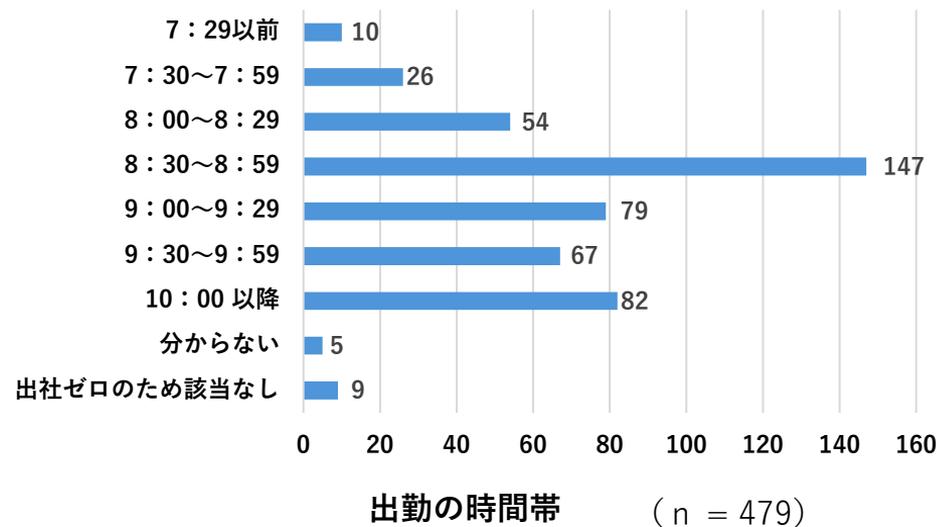
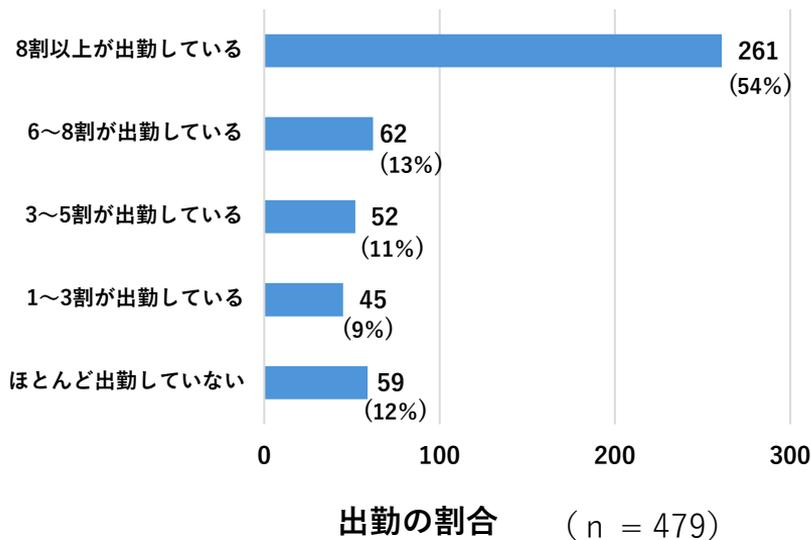
時差出勤を実施しない理由

(n = 243 / 複数回答可・任意)

Q4,Q5:従業員の出勤割合と時間帯

2024年8月の従業員の出勤割合とその時間帯

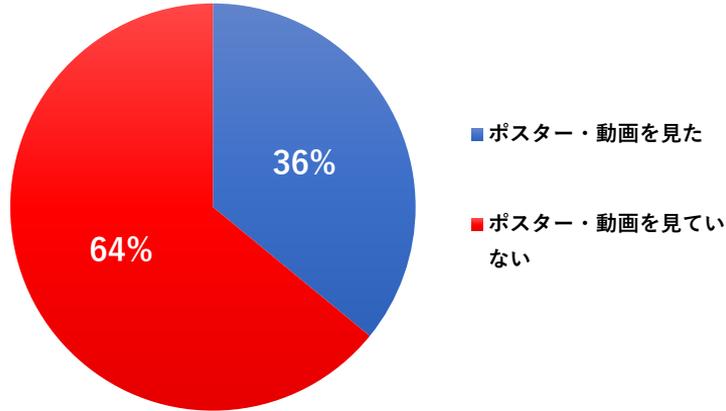
- ・約半数の企業が8割以上出勤していると回答
- ・一方で約1割の企業はほとんど出勤していないと回答
- ・出勤の時間帯としては8:30～8:59が一番多く、依然として通勤時間ピーク帯に出勤する企業が最も多い傾向は変わっていない



Q6,7:オフピーク通勤のポスター・動画について

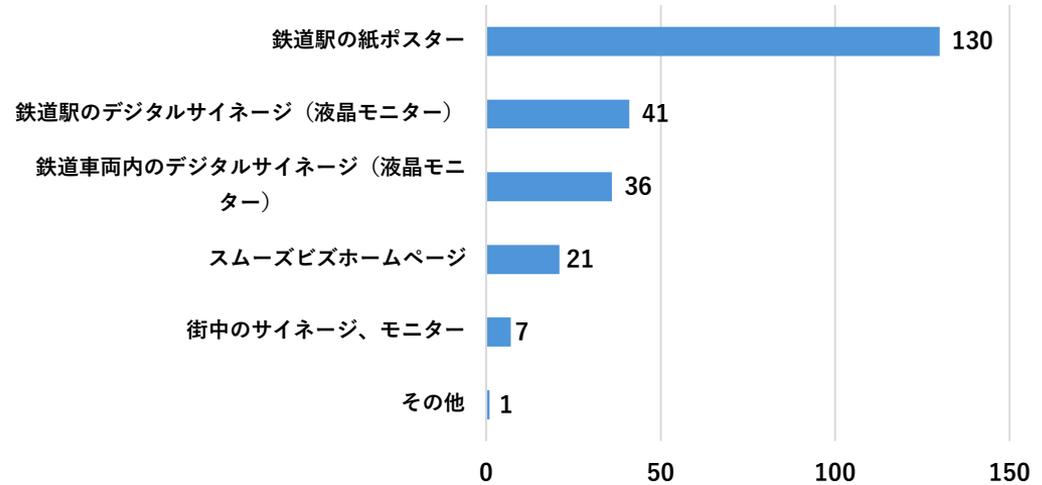
オフピーク通勤ポスター・動画を見たことがあるか。また、どこを見たか

- ・オフピーク通勤ポスター・動画を見たことがあると回答したのは約4割
- ・メディアは鉄道駅の紙ポスターが半数以上が占めている



オフピーク通勤のポスター・動画について

(n = 479)



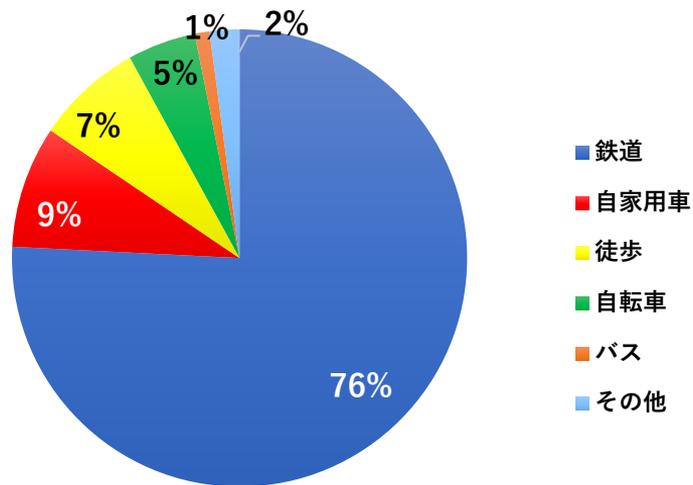
動画・ポスターを見たメディア

(n = 236 / 複数回答可・任意)

Q8-1,2:通勤方法および8月の鉄道混雑状況

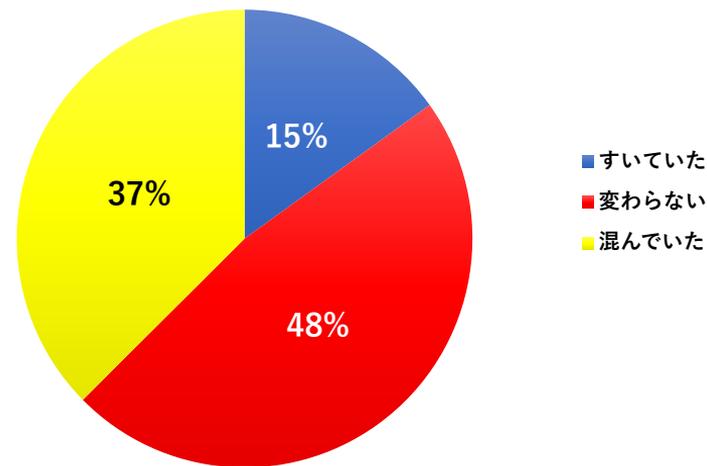
通勤方法および8月鉄道の混雑状況

- ・約8割の企業が「鉄道」を選択
- ・8月の鉄道混雑状況は半数が「変わらない」を選択



通勤方法

(n = 475)



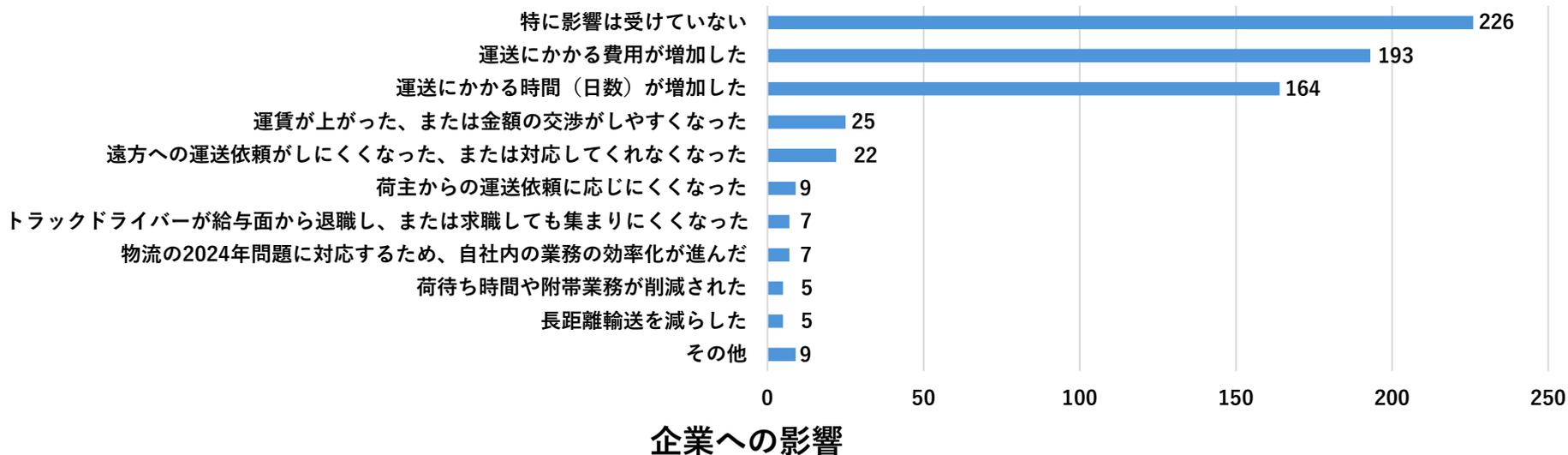
8月の鉄道混雑状況

(n = 358)

Q9:物流の2024年問題 企業への影響

物流の2024年問題が企業に与えている影響

- ・特に影響は受けていないが総回答の約3割
- ・影響としては輸送にかかる費用が増加したが最多だった。

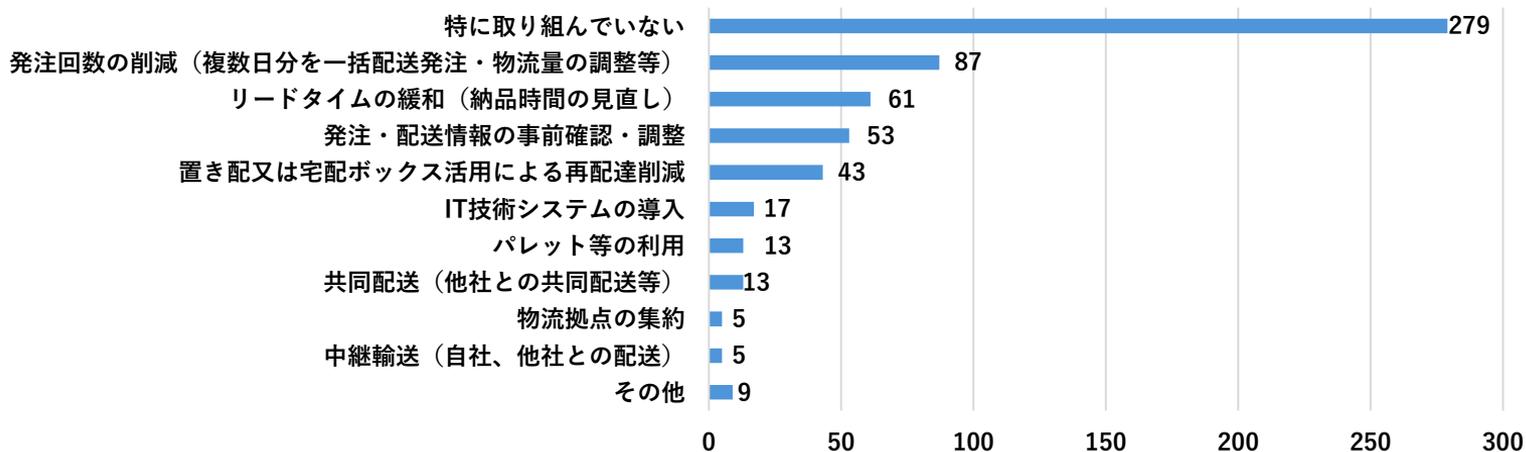


(n=672/複数回答可)

Q10:物流の効率化に資する取組

以前から継続的に実施しているあるいは新たに実施した取組

- ・特に取り組んでいないが最も多かった
- ・発注回数の削減、リードタイムの緩和、発注・配送情報の事前確認・調整が上位回答



物流の効率化に資する取組

(n=585／複数回答可)